

あいち農産物生産流通レポート

平成27年7月号

情報サロン	
・東京都中央卸売市場における平成26年の愛知県産農産物の動向 (東京事務所)	1
地域トピックス	
・東三河で野菜の集出荷貯蔵施設が相次いで完成！ ～全国に誇る産地としてさらなる発展に期待～ (東三河農林水産事務所)	3
東日本情報	
・加工・業務用野菜に関するセミナーが開催される (東京事務所)	5
フラワーページ	
・大田市場花き棟について (東京事務所)	7
青 果	
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	9
・名古屋・東京市場における青果物の7月の見通し	10
花 き	
・切花・鉢花の7月の見通し(県内市場)	22
輸出入	
・主要農林水産物の輸出入実績(2015年4月)	26
関連指数	27

今月、西日本情報はありません。

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6421

東京都中央卸売市場における 平成26年の愛知県産農産物の動向

東京都における本県産農産物の状況

平成26年産（平成26年1月から12月まで）の東京都中央卸売市場（9市場）（以下、「東京」という。）での本県産農産物の総取扱額は319億円（シェア5.2%）で47都道府県の中で茨城県、千葉県、北海道、長野県に次いで第5位でした（前年は第4位）。ちなみに上位の総取扱額は、茨城県：542億円、千葉県：499億円、北海道：347億円、長野県：341億円でした。また本県産農産物の内訳としては、野菜が179億円（4.9%）、果実が20億円（1.2%）、花きが120億円（14.0%）で、主要品目については下記の通りでした。

1 野菜

東京での野菜の総取扱額は3,650億円で、前年を35億円上回りました。

本県産については、主要品目のキャベツとトマトでは、台風の影響で年内入荷量が伸びず、また10月の気温が高く推移したことで夏秋産地の切り上がりが遅れ相場が上がらず、取扱額は前年と比べるとキャベツは大幅に（17.1% 9.3億円）、トマトはかなり（11.2% 3.4億円）下回りました。一方、ブロッコリーとミニトマトは前年並で、おおばはわずかに（2.7% 0.6億円）上回りました。また野菜全体では主要品目が下回ったため、前年をかなり（6.6% 12.7億円）下回る結果になりました。

表1 主な品目の取扱額(野菜) (単位:百万円)

品目	平成26年	対前年比	順位(シェア)	上位産地
野菜合計	17,908	93.4%	6位(4.9%)	①茨城、②千葉、③北海道
キャベツ	4,523	82.9%	1位(26.6%)	②群馬、③千葉
トマト	2,672	88.8%	4位(9.2%)	①熊本、②栃木、③千葉
ミニトマト	2,583	100.5%	1位(20.6%)	②熊本、③北海道
おおば	2,305	102.7%	1位(74.9%)	②茨城、③大分
ブロッコリー	1,477	98.4%	2位(16.7%)	①北海道、③埼玉
ほじそ	469	96.7%	1位(98.9%)	②沖縄、③東京
さやえんどう	341	107.6%	1位(25.0%)	②鹿児島、③長崎
ふぎ	310	98.2%	1位(78.5%)	②群馬、③千葉

2 果実

東京での果実の総取扱額は1,630億円で、前年をやや（3.9% 61億円）上回りました。

本県産については、入荷量が前年をやや（5.1% 198t）下回ったことから、取扱額は前年と比べるといちご類がかなり（14.6% 1.0億円）、みかん類もかなり（

13.5% 0.7億円)下回りました。いちじくは前年並でしたが、主要品目が大きく下回ったことから、果実全体では前年をかなり(8.9% 2.0億円)下回る結果になりました。

品目	平成26年	対前年比	順位(シェア)	上位産地
果実合計	2,035	91.1%	19位(1.2%)	①青森、②愛媛、③栃木
いちご類	590	85.4%	7位(2.1%)	①栃木、②福岡、③茨城
いちじく	498	100.2%	1位(49.4%)	②和歌山、③福岡
みかん類	456	86.5%	8位(1.8%)	①愛媛、②静岡、③長崎
柿類	348	92.0%	6位(6.1%)	①和歌山、②奈良、③福岡
メロン類	42	83.2%	12位(0.4%)	①茨城、②静岡、③熊本

3 花き

東京での花きの総取扱額は855億円で、前年を7億円下回りました。

本県産については、前年と比べると切り花ではアルストロメリア、スプレー菊、バラ類が上回りましたが、輪菊、カーネーション類が下回ったことから、切り花全体では86億円と前年並(1.0% 0.8億円)になりました。鉢物では、主要3品目すべてが前年を下回り、なかでもらん鉢については前年をかなり(12.8% 0.8億円)下回りました。また苗物では、前年をかなり(10.1% 0.2億円)上回りました。本県産全体としては、前年並(1.5% 1.9億円)の結果になりました。

品目	平成26年	対前年比	順位(シェア)	上位産地
花き合計	11,975	98.5%	1位(14.0%)	②千葉、③埼玉
切り花計	8,628	99.0%	1位(15.1%)	②千葉、③静岡
輪菊	4,285	98.0%	1位(52.1%)	②静岡、③沖縄
スプレー菊	1,360	102.3%	1位(35.2%)	②マレーシア、③栃木
バラ類	907	102.1%	2位(13.7%)	①静岡、③山形
アルストロメリア	463	105.3%	2位(37.3%)	①長野、③山形
カーネーション類	342	97.7%	5位(6.0%)	①長野、②千葉、③コロンビア
観葉植物	1,371	98.1%	1位(40.3%)	②静岡、③鹿児島
鉢花	722	96.5%	2位(12.1%)	①埼玉、③千葉
らん鉢	580	87.2%	3位(12.1%)	①埼玉、②栃木
苗物	210	110.1%	5位(4.4%)	①埼玉、②神奈川、③千葉

東三河で野菜の集出荷貯蔵施設が相次いで完成！ ～全国に誇る産地としてさらなる発展に期待～

東三河地域では、平成26年度強い農業づくり交付金を活用して、トマト集出荷貯蔵施設（JA豊橋）大葉自動計量包装施設（東三温室農協）が、今年3月に相次いで完成しました。

1 トマト集出荷貯蔵施設（JA豊橋）

（1）導入の経緯

JA豊橋では、近年、養液栽培の普及等でトマトの生産性が向上したことにより、既設のトマト選果場の年間取扱量が整備時の計画4,900tの約1.6倍となる8,080t（平成24年）にまで大幅に増加し、処理能力の超過と選果精度の低下を招くなどの問題が生じていました。

また、若い世代の生産意欲も旺盛で、今後も生産量はさらに増加することが見込まれており、これ以上の増加には対応できない状況にありました。

こうした状況に対応するため、今回、補助事業を活用して、従来より選果ラインと自動箱詰め装置を増やして処理量を増加した、新たなトマト集出荷施設を整備しました。

（2）施設の特徴

新集出荷施設では、これまでの形状・色彩選別に加えて新たに内部品質（糖度）センサーを導入して品質重視の選果を実現するほか、トレーサビリティにも対応し、箱ごとに生産者の追跡が可能となっています。さらに、製品の入出庫は全て情報を管理し、自動倉庫とロボットパレタイザーの導入によって、等階級別の製品管理と仕向先別のパレット積みが自動化されており、出荷の効率化が図られています。

現在は本格稼働に向けて試運転中ですが、平成27年産冬春トマトから本格稼働が始まり、全国の消費地へ向けて豊橋の高品質なトマトが出荷される見込みです。

【事業概要】

事業主体	豊橋農業協同組合
整備内容	トマト集出荷貯蔵施設 建屋（鉄骨2階建） 1棟 9,403.9㎡ 選果設備一式 （形状・色彩・糖度選別フリートレー6条 自動箱詰め10条、手詰め8条、自動倉庫1基 ロボットパレタイザー1台）
事業費等	総事業費 1,402,920,000円 補助対象事業費 1,286,430,000円 国庫補助金（1/2以内） 643,215,000円 市庫補助金（5%以内） 64,321,500円
受益	農家数 165戸 面積 53.4ha
取扱量等	年間出荷量 : 8,692トン（255日稼働） 選果処理能力 : 10,800玉/h・条



集出荷施設全景



自動箱詰めロボット



箱詰めされたトマト

2 大葉自動計量包装施設（東三温室農協）

（1）導入の経緯

東三温室農協の主力品目である大葉は、結束、袋詰め等の出荷調製が手作業で行われており、多くの労力を必要としています。

これらの作業はパートや内職などの雇用労働力に頼っていますが、近年は、他産業との競合などからこうした雇用の確保が難しくなっており、大葉部会では雇用の確保や計画生産などの観点から機械化による出荷調製作業の一元化と省力化が求められていました。

一方、大葉を始めとするつまものは、量販店等の実需者からは様々な規格、量目、入り数等が求められ、出荷形態が多様化しています。

こうした中、東三温室農協では3年ほど前から機械化の検討を進め、今回、実用化の目処が立ったことから、補助事業を活用して大葉自動計量包装施設を整備することとなりました。

（2）施設の特徴

今回導入した大葉自動計量包装機は、ほ場から運ばれた大葉を自動で計量して、ガゼット袋（マチ付き袋）に袋詰することができ、農家の出荷調製作業が大幅に軽減されます。

また、金属探知機も備え極力人の手に触れずに袋詰めされるため、大葉の香りを損なわず清潔で安全に出荷することができるとともに、実需者が求める出荷規格に個別に対応できるため、今後、一般消費者にも刺身等のつまとしてだけでなく「食べる野菜」として大葉がブランド化され、契約取引が拡大することが期待されます。

現在すでに、この施設で生産された製品が、量販店を中心に出荷されており、高い評価を得ています。

【事業概要】

事業主体	東三温室園芸農業協同組合
整備内容	大葉自動計量包装施設 建屋(鉄骨平屋建) 1棟 160.6㎡ 冷蔵庫施設 1室 95.5㎡ 大葉自動軽量包装機 一式
事業費等	総事業費 124,308,000円 補助対象事業費 80,090,000円 国庫補助金(1/2以内) 39,144,000円
受益	農家数 62戸 面積 22.25ha
処理能力等	1日当たり : 約9,000袋/日 (20g/袋) 年間処理量 : 54トン(300日稼働)



大葉自動計量包装機



自動袋詰めの様子



できあがった製品
(20g入ガゼット袋)

東三河地域では、本年度もトマト・メロン集出荷施設（JA愛知みなみ）の建設が進められており、今後も、全国に誇る施設園芸産地として東三河地域の農業のさらなる発展が、益々期待されます。

東京事務所行政課農産物流通対策グループ

加工・業務用野菜に関するセミナーが開催される

平成27年5月29日（金）に「加工・業務用野菜バリューチェーン構築セミナー」が農林水産省本館（千代田区霞が関1）にて開催されました。その中から、販売事業者の取組を紹介します。

目的

このセミナーは、世帯構成やライフスタイルの変化から「食」の外部化が進んでおり、カット済み野菜などの加工・業務用野菜ニーズが高まるなか、加工・業務用野菜バリューチェーンの先進的な取組の講演を通じて、関係者の問題解決に役立てることを目的に開催されました。

販売事業者の取組

㈱東急ストアは、東京と神奈川を中心に東急線沿線で86店舗（平成26年2月末現在）を展開しており、店舗形態は、“暮らしの便利”を追求したスーパーマーケット「東急ストア」、品質にこだわった商品と質の高い接客サービスを提供する食の専門館「プレッセ」、総菜などの中食需要に対応し“利便性”にこだわったスーパーマーケット「フードステーション」の3種類があります。

消費者の食に対する志向は、経済性（価格）と付加価値（安全・簡便）の二極化が進み、なかでも近年は付加価値に対する志向の高まりがみられ、東急ストアでは「美味しいモノ」や「安全なモノ」、「簡便なモノ」といった付加価値商品の売上が伸びているとのこと。

「手紙のついた野菜と果物」ブランドは、ちょっと良いモノを求めるお客様を対象にした商品で、右写真のように東急ストアの商品ラベルにQRコードを表示し、アクセスすると生産者の顔や産地の

加工・業務用野菜バリューチェーン構築セミナー プログラム

あいさつ（農林水産副大臣 あべ俊子氏）
講演
生産者：「農家の為になる加工・業務用野菜の産地として」
農業生産法人（有）トップリバー 代表取締役 嶋崎秀樹氏
中間事業者：「加工・業務用野菜の流通における㈱ケーアイ・フレッシュアクセスの役割と取り組み」
㈱ケーアイ・フレッシュアクセス 常務執行役員 相原徹氏
青果物物流事業者：「メッシュボックスパレットを利用した加工・業務用野菜の流通効率化への取り組み」
日建リース工業㈱ 物流機器事業本部 企画推進部長 津村光三氏
野菜加工事業者：「農商工連携による新たな流通加工システムの構築へのチャレンジ」
㈱JFC 代表取締役 白井永俊氏
野菜加工・中食事業者：「㈱三晃の取り組み」
㈱三晃 取締役事業部長 藤澤公義氏
販売事業者：「青果物の仕入・販売戦略」
㈱東急ストア 営業統括本部生鮮食品部 青果担当部長 小山達也氏



「手紙のついた野菜」のミニトマト（愛知県産）

こだわり、レシピ提案などの情報が得られるようになっていす。このブランドは今年で8年目を迎え、売り場のなかでも非常に魅力ある商材になっています。なお26年は、QRコードを通して約27千人がアクセスし、ページ検索数は30万件に及んだとのことでした。

「カット済み野菜」は、単身者や共働き等で料理時間を省きたいお客様に需要のある商品で、売上は年々伸びており、なかでもカットサラダは年間野菜売上の4番目に位置し、トマト、キュウリ、ネギに続く商品になっていることから、専用コーナー化し、アイテム数を増やして選択の幅を広げています。カット済み野菜を購入している世代は、50代以下の比率が高く、加熱用は40代以下の若年ファミリー層が多い傾向にありました。カットサラダは60代以上のシニア層が約4割を占めており、今後は加熱用についてもシニア層の拡大が予想されています。

また、東急ストアは神奈川県川崎市に物流基地を設けており、そこから全店への配送をするだけでなく加工機能を備え、23年にはパッケージセンターを開設し、今年3月にはカットフルーツも扱うようになっていくとのことです。

利点として、物流の効率化によるコスト削減や低温配送、品質の均一化などが挙げられ、また、スーパーのバックヤードで一次加工するには人手が足りないことも大きな要因となっているとのことです。

モノが豊富で選択できる現代では、お客様視点に立った商品づくりが重要になっており、今年3月31日に閣議決定された「食料・農業・農村基本計画」では、農業者や食品産業事業者等が、新たな需要に取り組むための戦略的なパートナーとなっていくことを支援する施策が盛り込まれています。食生活の変化に対応した商品をお客様に提案するなかで、「生産」、「流通」、「販売」の3者が連携してバリューチェーンを構築することで、消費者の青果物の購買欲がより一層促進されることに期待します。

大田市場花き棟について

はじめに

大田市場は青果部・水産物部・花き部の3部門を有する総合市場であり、首都圏物流の拠点である東京都大田区の臨海地域に立地しています。本市場は青果物・花きでは日本一の取扱規模を誇っており、全国の青果物・花きの価格形成に大きな影響を与えます。ここではその花き棟について紹介します。

首都圏随一の大市場と花の王国あいち

東京都中央卸売市場のうち、花きの取扱がある市場は5市場ですが、大田市場は切花、鉢物ともに最大の取扱高を誇っており、首都圏の花きの流通において強い影響力を有しています(表1)。

大田市場では千葉・茨城等の近郊産地はもちろん、北は北海道、南は沖縄まで多くの産地から入荷がありますが、本県は切花、鉢物ともに取扱金額第1位となっており、「花の王国あいち」として、数ある産地の中でも大きな存在感を示しています(表2、3)。

表1：東京中央卸売市場における
平成26年市場別花き取扱高

(単位：百万円)

区分	取扱金額	取扱高		
		切花	鉢物	その他
大田市場	49,495	32,766	9,025	7,704
世田谷市場	12,666	7,171	3,483	2,012
葛西市場	8,122	5,059	2,038	1,024
北足立市場	8,027	6,120	1,006	901
板橋市場	7,178	5,890	548	740

*取扱金額計と内訳はラウンドにより一致しない場合がある。

表2：大田市場における
平成26年産地別切花取扱金額

(単位：百万円)

区分	取扱金額	割合
1 愛知	4,500	14%
2 千葉	2,208	7%
3 静岡	2,035	6%
4 長野	1,852	6%
5 栃木	1,169	4%
市場計	32,766	100%

表3：大田市場における
平成26年産地別鉢物取扱金額

(単位：百万円)

区分	取扱金額	割合
1 愛知	1,873	21%
2 埼玉	1,485	16%
3 千葉	854	9%
4 茨城	598	7%
5 群馬	515	6%
市場計	9,025	100%

■花き棟のご紹介

大田市場は約 38 万 6 千平方メートルと東京ドーム約 8 個分の広大な敷地面積を有しており、花き棟は青果棟・水産棟から湾岸道路（国道 357 号）を挟んだ向かい側に位置しています。

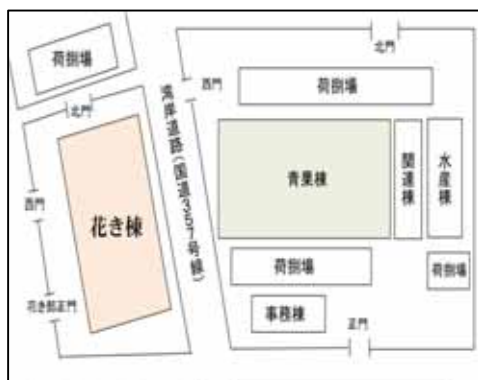
大田市場花き棟においては(株)フラワーオークションジャパン、(株)大田花きの 2 社の卸売事業者により、2 カ所の競り場でそれぞれ競りが行われます。競りは月・水・金曜日の午前 7 時頃から切花、火・木・土曜日の午前 7 時 30 分頃から鉢物を中心に行われ、競り人の威勢の良いかけ声が飛び交います。

大田市場の花きの競りは、決められた値段から下げていき、最も高い値で競り落とした買参人が購入できる“下げ競り”方式で、値段を上げていく“上げ競り”に比べて落札までの時間が短く、大量の商品を取り扱うことができるという利点があります。

競りは電子システムで運営されており、買参人は競り人が掲げる商品見本と手元の端末で商品情報を確認し、落札します。

こうして競りはおよそ午前 10 時までには終了し、落札者への分荷・配送が行われます。

また、場内には 18 社の仲卸事業者が入居しており、場内一角に「仲卸通り」を形成しています。競り中は買参人や生花店などの買出人で賑わいます。



大田市場場内配置図



競りの様子



買出人で賑わう朝の仲卸通り

■おわりに

消費者と生産者の接点である市場には、人・物・金・情報が多く集まります。日本一の取扱規模を誇る大田市場内では、卸売事業者や仲卸事業者による小売り事業者への商品紹介や各産地の商品 P R などが連日行われ、花きの生産・消費の動きを肌で感じることができます。東京に足を運ばれる際は、是非見学に来ていただければと思います。

愛知産青果物の動向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

名古屋市中央卸売市場（品目：アールスメロン）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
26年実績	1,663	288 (17%)	768	472	静岡 (38%) 愛知 (17%) 熊本 (17%)
27年見通し	1,500	225 (15%)	750	450	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>新盆等のギフトの注文があるが、発注自体は年々減少傾向にある。(前年の8割) 作付面積の減少及び春先の日照不足の影響により、入荷量が少なく、サイズも小玉が中心。発注数も少ないことから、単価も上がらないもよう。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>			<p>入荷が安定しなければ、需要の関係により価格が安定しないため、計画的な出荷に努めて欲しい。 小玉より大玉の方が好まれる傾向があり、また、気温等によるひび割れも懸念されるため、品質の安定に気をつけて欲しい。 今後は、試食会などの販売促進による需要増を期待したい。</p>		

東京都中央卸売市場（品目：とうがん）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
26年実績	808	215 (27%)	100	135	神奈川 (28%) 愛知 (27%) 静岡 (24%)
27年見通し	800	-	105	-	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>昨年は、静岡、愛知、神奈川が前年より増量だったため、入荷量は前年を大幅に上回り、価格はやや下回った。今年も愛知をはじめ静岡、神奈川、茨城などからの入荷となる。愛知県産の入荷開始は6月1日と前年と同様で、7月に入荷ピークを迎える。生育は各産地とも概ね良好で、6月の入荷量は前年よりも大幅に増量。 全体の入荷量は前年並で、価格は安値であった前年をやや上回る見込み。</p>			<p>愛知県産については品質に問題はなく、これまで通り、形や色を揃えるなど高品質の保持に努めて欲しい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の7月の見通し

名古屋市中央卸売市場

6月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	22年	30,896	201	221	236	232	長野 28%
	23年	30,577	229	230	222	210	北海道 11%
	24年	29,793	219	208	213	198	愛知 9%
	25年	30,327	204	237	239	210	兵庫 9%
	26年	29,589	213	221	215	210	
	5ヵ年平均	30,236	213	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	28,200	237	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は長野、北海道、愛知が中心。産地によって、今後、夏秋型のものに切り替わっていく。また、気温の上昇によって生育状況も変わる模様。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。							
だい	22年	1,664	90	80	105	90	青森 54%
	23年	1,688	95	94	98	99	北海道 31%
	24年	1,820	76	81	80	75	岐阜 14%
	25年	1,746	91	118	83	83	長野 2%
	26年	1,557	76	78	78	78	
	5ヵ年平均	1,695	86	90	89	85	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,600	85	85	85	85	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は青森が中心。他、一部北海道、岐阜。青森は干ばつ気味であることと、露地物の作付面積が減少のため入荷量は減少しているが、天候によっては回復する見込みである。北海道は7月上旬頃から全国的に出てくる模様。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり上回る見込み。							
こ	22年	1,526	203	199	201	208	青森 62%
	23年	1,785	117	141	110	107	北海道 30%
	24年	1,603	163	241	166	120	茨城 2%
	25年	1,672	124	157	115	105	和歌山 2%
	26年	1,644	119	136	116	117	
	5ヵ年平均	1,646	144	173	140	130	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,600	155	180	160	130	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は青森、北海道が中心。青森は作付面積が減り、出荷量も減少する模様。北海道の函館から北の地域では、生育は順調で、作付面積も増える模様。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。							

東京都中央卸売市場

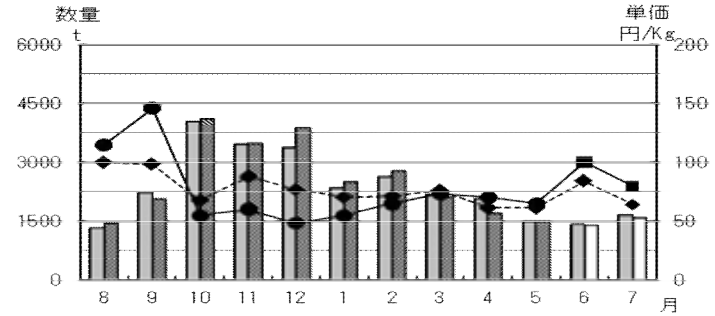
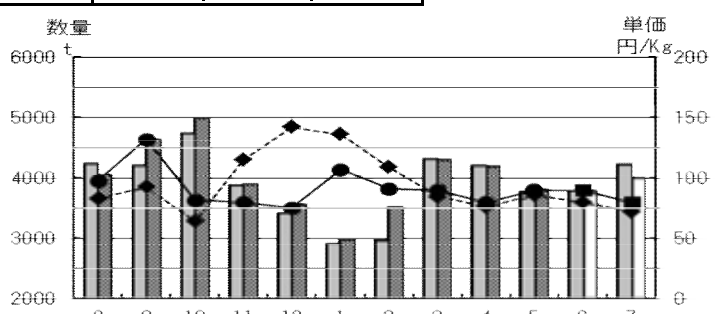
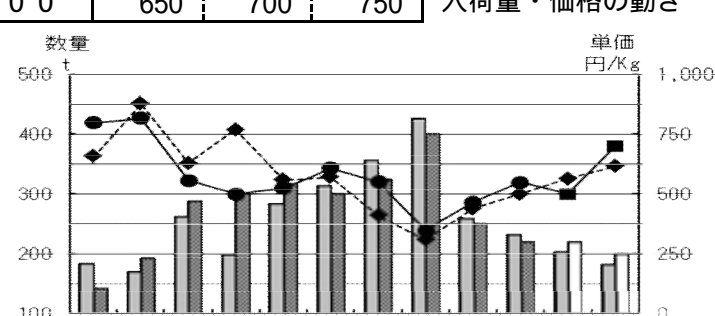
6月25日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	22年	122,704	237	226	245	242	長野 14%
	23年	118,688	238	250	237	228	群馬 13%
	24年	123,363	217	224	215	212	茨城 11%
	25年	127,083	250	267	251	234	北海道 9%
	26年	127,260	229	238	227	223	(愛知産比率 1%)
	5カ年平均	123,820	234	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	124,500	235	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野、群馬の高冷地と東北、北海道からの入荷が本格化する時期となる。5月の干ばつの影響で、生育は品目によってまちまちだが梅雨に入り持ち直してきている。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>					
だいこん	22年	8,799	90	81	103	86	北海道 58%
	23年	8,212	93	95	89	95	青森 37%
	24年	8,703	70	76	68	68	岩手 2%
	25年	8,952	90	117	78	80	千葉 1%
	26年	9,212	76	81	72	74	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	8,776	84	90	82	80	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	9,200	80	85	80	75	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、青森からの入荷が中心となる。北海道は播種以降好天のため生育良好で出荷開始は若干早まる見込み。青森は5月の少雨と気温低下から生育はやや遅れ気味、生産者減。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は安かった前年をやや上回る見込み。</p>					
にじん	22年	5,514	181	170	184	189	青森 39%
	23年	6,145	111	118	104	112	千葉 31%
	24年	6,291	149	185	152	115	北海道 26%
	25年	6,753	124	137	117	115	中国 1%
	26年	6,895	114	121	109	112	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	6,320	134	145	131	127	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	6,900	130	150	120	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉に加えて、青森、北海道からの入荷が本格化する。青森は融雪が早かったため播種が10日ほど早く、前進出荷する見込み。千葉と北海道は一時干ばつで肥大が遅れていたが回復傾向にある。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	22年	1,956	63	51	72	70	長野 96%
	23年	1,919	58	67	57	60	群馬 3%
	24年	1,865	50	64	51	51	北海道 0%
	25年	1,529	84	79	83	107	岐阜 0%
	26年	1,650	64	78	59	64	
	5ヵ年平均	1,784	63	67	64	69	前年及び本年の入荷量・価格の動き
27年見通し	1,600	80	85	80	75		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は長野が中心。他、一部群馬。現在は、加工契約が中心となっている。高値の反動があり、今後はだんだん安くなっていく模様。 入荷量は前年をやや下回り、価格は大幅に上回る見込み。</p>					 <p>ほうき: 数量 (t) と 単価 (円/kg) の月別推移 (8月～7月)。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。</p>
キャベツ	22年	3,792	89	77	100	91	群馬 43%
	23年	4,096	95	117	101	75	長野 38%
	24年	4,259	57	61	57	59	茨城 11%
	25年	3,839	105	111	98	108	
	26年	4,227	72	81	66	75	
	5ヵ年平均	4,043	83	89	84	81	前年及び本年の入荷量・価格の動き
27年見通し	4,000	80	90	80	70		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は群馬、長野が中心。他、茨城の残量から。群馬は噴火の影響が出てくる可能性がある。しかし噴火のことを考えなくても、低温で生育が遅れている。 天候が回復して気温が上昇しなければ、今後も遅れてくる模様。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					 <p>キャベツ: 数量 (t) と 単価 (円/kg) の月別推移 (8月～7月)。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。</p>
ほうれんそう	22年	202	719	636	771	777	岐阜 85%
	23年	193	687	684	695	689	長野 5%
	24年	226	600	622	576	598	茨城 2%
	25年	204	702	871	646	621	静岡 2%
	26年	183	617	569	667	662	
	5ヵ年平均	202	664	677	669	668	前年及び本年の入荷量・価格の動き
27年見通し	200	700	650	700	750		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は高冷地である岐阜が中心。気温が上昇するとともに、順調に生育していく模様。 入荷量、価格ともに、前年をかなり上回る見込み。</p>					 <p>ほうれんそう: 数量 (t) と 単価 (円/kg) の月別推移 (8月～7月)。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。</p>

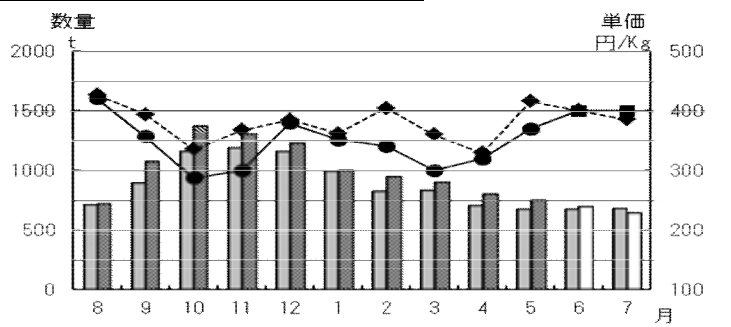
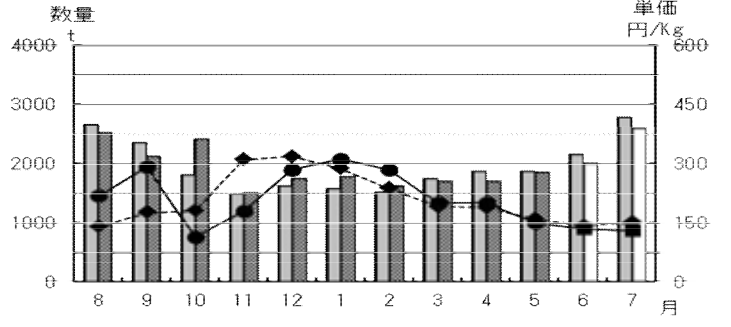
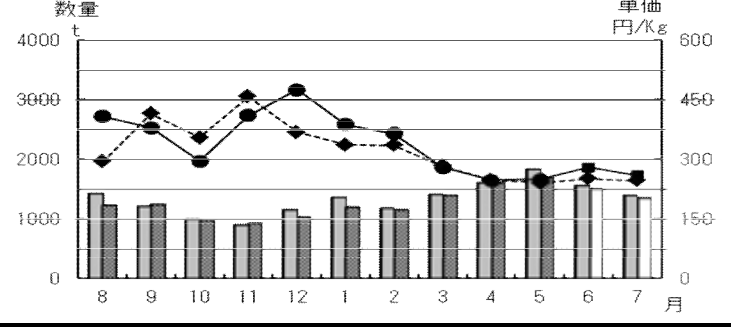
東京都中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうきさい	22年	6,024	59	49	64	65	長野 93% 群馬 6%
	23年	6,005	58	64	56	56	
	24年	5,669	50	55	45	51	
	25年	5,834	88	76	82	107	
	26年	5,955	66	75	57	63	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	5,897	64	64	61	68	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	5,800	75	80	75	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>長野、群馬からの入荷がほとんどを占める。長野は一部で定植時の干ばつのため玉伸びが鈍いが、全体の生育は概ね良好。群馬はピークを迎え上旬まで順調な出荷が続く。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>							
キヤベツ	22年	17,760	84	69	91	91	群馬 64% 岩手 15% 長野 7% 茨城 6%
	23年	14,130	92	106	98	76	
	24年	15,032	51	57	48	49	
	25年	16,344	97	106	86	100	
	26年	16,028	69	80	66	64	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	15,859	79	83	78	77	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	15,500	73	80	70	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>群馬、岩手、長野、茨城からの入荷が中心となる。群馬は定植直後の干ばつと霜で生育遅れがみられたが、回復傾向にある。岩手は干ばつで生育不揃いの地域がみられ小玉傾向の見込み。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>							
ほうれんそう	22年	946	651	547	725	728	群馬 26% 栃木 25% 茨城 18% 岩手 12%
	23年	910	587	548	565	667	
	24年	1,074	513	492	447	618	
	25年	923	671	754	609	646	
	26年	972	617	552	640	677	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	965	605	576	594	666	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	970	590	540	580	650	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>関東高冷地と岩手からの入荷が中心となる。群馬は露地からハウスに移行し、播種は計画的に進む。栃木と岩手は干ばつで一部生育停滞がみられるが全体的に生育は概ね良好。茨城は生育良好。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	22年	843	433	392	486	434	愛知 25%
	23年	746	382	374	415	389	大分 17%
	24年	740	384	384	408	380	静岡 10%
	25年	713	422	410	452	424	鳥取 9%
	26年	685	386	403	407	376	
ぎ	5ヵ年平均	745	402	392	435	402	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	650	400	450	400	350	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は愛知、茨城が中心。また、白ねぎは大分、鳥取が中心。全体的には大きな変化はない模様。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。							
レタ	22年	2,108	144	118	123	186	長野 99%
	23年	2,275	106	121	113	109	
	24年	2,488	110	113	115	126	
	25年	2,508	177	198	206	153	
	26年	2,780	151	154	150	164	
ス	5ヵ年平均	2,432	138	142	143	147	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	2,600	130	150	120	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は長野が中心。6月に前進傾向であったため、7月上旬の出荷量は少なめとなるが、中旬からは順調な出荷となる。天候次第では、2Lサイズの大玉となる模様。入荷量、価格ともに、前年をかなり下回る見込み。							
きゅうり	22年	1,540	236	266	263	191	長野 54%
	23年	1,359	296	318	291	283	北海道 21%
	24年	1,404	257	275	255	249	愛知 6%
	25年	1,335	295	331	290	275	岩手 5%
	26年	1,396	247	249	254	244	
り	5ヵ年平均	1,407	265	287	270	247	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,350	260	300	250	230	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は長野、北海道が中心。今後、西の産地の物から、北の産地の物になる。長野、北海道ともに生育は順調。価格は平年よりは安くなる模様。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬	(愛知産比率)	
ね	22年	3,902	337	312	403	307	茨城 63%
	23年	3,993	260	259	272	251	千葉 14%
	24年	4,045	274	285	314	228	中国 5%
	25年	4,003	349	358	377	306	埼玉 5%
	26年	3,857	320	372	316	274	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	3,960	308	317	336	273	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
27年見通し	3,900	330	390	330	270		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、千葉など関東産地からの入荷が中心となる。各産地とも5月の干ばつのため生育遅れ気味だったが、梅雨の降雨で肥大良好に向かっている。埼玉は一部で病害虫が多発生の模様。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
し タ ス	22年	8,495	145	110	128	189	長野 84%
	23年	9,501	103	110	102	96	群馬 13%
	24年	9,610	107	100	104	107	岩手 1%
	25年	9,630	186	200	201	157	(愛知産比率 0%)
	26年	9,647	132	157	159	172	
	5ヵ年平均	9,377	134	136	139	143	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
27年見通し	9,900	130	110	140	140		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野、群馬からの入荷が中心となる。長野と群馬はともに5月の干ばつの影響でやや小玉傾向で推移したが梅雨の降雨で回復に向かう。生育は概ね良好で順調な出荷が期待できる。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>					
き ゆ う り	22年	8,135	204	240	216	171	福島 37%
	23年	7,832	266	321	233	257	岩手 17%
	24年	7,868	224	230	212	230	秋田 14%
	25年	7,592	279	280	268	289	千葉 6%
	26年	7,736	209	216	218	199	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	7,833	236	257	229	228	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
27年見通し	7,900	210	220	210	200		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地から福島、岩手など東北産地に入荷の中心が切り替わる。各産地ともハウスものに加えて露地もの出荷が始まり、中旬頃からピークを迎える。福島と秋田は生育良好で順調出荷を見込む。</p> <p>入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年並の見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
な	22年	1,025	306	305	336	289	愛知 38%
	23年	1,081	315	327	309	319	徳島 19%
	24年	1,005	300	294	316	300	宮崎 10%
	25年	969	276	333	275	238	山梨 10%
	26年	947	271	260	279	279	
	5ヵ年平均	1,005	294	304	304	286	
す	27年見通し	950	300	330	300	270	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は熊本、愛知が中心だったところに、夏秋型の産地として、新しく山梨、徳島が入ってくる。今後は夏秋型のものに切り替わっていく模様。夏場は雨風が生育に影響してくるが、現在は良好である。 入荷量は前年並であり、価格は前年をかなり上回る見込み。							
ト マ ト	22年	1,518	285	248	265	335	岐阜 32%
	23年	1,342	348	327	359	360	愛知 26%
	24年	1,402	318	325	320	317	北海道 19%
	25年	1,247	363	376	375	344	三重 6%
	26年	1,442	300	296	317	293	
	5ヵ年平均	1,390	321	312	325	329	
ト	27年見通し	1,400	320	320	320	320	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は岐阜、愛知が中心。他、北海道。全体的に小玉傾向である。しかし、生育は順調であるため、数量は出てくる模様。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格はかなり上回る見込み。							
ミ ニ ト マ ト	22年	334	544	495	553	581	北海道 51%
	23年	292	715	678	756	745	愛知 29%
	24年	349	622	618	614	635	茨城 8%
	25年	346	670	673	787	558	熊本 5%
	26年	388	560	541	554	582	
	5ヵ年平均	342	618	598	648	616	
ト	27年見通し	360	600	650	600	550	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は北海道が中心。他、愛知。愛知は中旬頃まで。北海道は生育が良好であるが、6月の低温や天候不順の影響で量は不安定である。冬春ものも例年より早く終わる模様。7月初めは品薄で高値となる。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。							

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
なす	22年	4,866	297	335	325	250	群馬 24%
	23年	4,716	312	362	282	299	茨城 23%
	24年	4,346	339	351	353	317	栃木 23%
	25年	4,390	333	409	302	304	福岡 7%
	26年	4,566	307	326	339	265	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	4,577	317	356	320	286	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	4,700	350	360	350	340	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、茨城など関東産地からの入荷が中心となる。各産地とも露地物は干ばつで生育遅延がみられたが、梅雨に入り回復傾向で下旬に出荷ピークを迎える。</p> <p>入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
							
トマト	22年	8,292	282	245	268	328	青森 17%
	23年	8,002	340	331	320	371	北海道 14%
	24年	8,874	301	307	295	301	千葉 9%
	25年	8,167	353	369	343	353	栃木 8%
	26年	8,707	300	317	310	281	(愛知産比率 5%)
	5カ年平均	8,408	315	313	307	326	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	8,900	310	310	310	310	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>青森、北海道からの入荷が本格化してくる。青森と北海道は春先から好天に恵まれ生育良好で乱形果の発生が少なく品質良好。千葉は夏秋作の出荷が始まり、栃木は終盤を迎える。</p> <p>入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
							
ミニトマト	22年	1,176	511	461	483	582	茨城 24%
	23年	1,040	695	720	689	674	福島 12%
	24年	1,434	561	566	591	533	北海道 12%
	25年	1,606	587	566	683	511	愛知 11%
	26年	1,726	537	506	568	540	(愛知産比率 11%)
	5カ年平均	1,396	573	556	603	559	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,750	570	570	570	570	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、福島、北海道からの入荷が増えてくる。各産地とも好天に恵まれ生育良好なため、順調出荷が期待できる。茨城と北海道の作付面積は前年並。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p>					
							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)		
			上旬	中旬	下旬			
ピーマン	22年	504	341	263	414	371	茨城 25% 岩手 25% 北海道 24%	
	23年	426	450	466	442	483		
	24年	480	303	282	355	324		
	25年	398	435	441	516	411		
	26年	526	295	326	318	263		
マ	5ヵ年平均	467	359	349	403	364	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	27年見通し	450	350	400	350	300		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量			単価 円/kg
		産地は岩手、北海道が中心。 促成作型の西の産地から、北の産地の夏 秋型に変わる。 全体的に平年並みになる模様。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前 年を大幅に上回る見込み。						
ばいしょ	22年	1,556	185	201	204	154	静岡 41% 北海道 23% 青森 13%	
	23年	1,662	101	118	90	97		
	24年	1,566	89	86	103	86		
	25年	1,536	126	85	166	132		
	26年	1,554	136	142	150	146		
い	5ヵ年平均	1,575	127	126	142	123	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	27年見通し	1,500	200	200	200	200		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量			単価 円/kg
		産地は静岡、北海道、青森が中心。 天候不順のため北海道、青森は小玉傾向 であり、出荷も遅れ気味である。また、7 月は品物が少ないため、全体的に価格が高 くなっている。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年 を大幅に上回る見込み。						
たまねぎ	22年	4,004	92	96	86	94	兵庫 72% 愛知 15% 北海道 5% 中国 3%	
	23年	3,412	64	63	64	67		
	24年	3,245	129	131	127	130		
	25年	3,688	82	81	82	85		
	26年	3,626	110	107	110	112		
ね	5ヵ年平均	3,595	95	95	93	97	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	27年見通し	3,300	130	130	130	130		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量			単価 円/kg
		産地は兵庫、愛知の残量が中心。 愛知は切り上げが早く、兵庫はLサイズ の小玉傾向となる模様。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前 年を大幅に上回る見込み。						

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	22年	2,056	320	233	398	349	茨城 55%
	23年	1,781	409	441	362	422	岩手 29%
	24年	2,018	248	220	273	254	福島 7%
	25年	1,911	417	433	474	331	青森 4%
	26年	2,099	284	313	287	247	(愛知産比率 0%)
マ	5ヵ年平均	1,973	332	324	357	318	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	2,100	280	290	280	270	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							<p>茨城、岩手、福島からの入荷が中心となる。茨城はピークを過ぎ後半に向かう。岩手は生育が前進傾向で、上旬には露地ものの出荷がまとまり、下旬にピークを迎える模様。</p> <p>入荷量、価格ともに前年並の見込み。</p>
白菜	22年	5,858	174	183	185	156	茨城 31%
	23年	5,740	102	119	97	90	静岡 22%
	24年	5,473	88	92	90	81	千葉 18%
	25年	5,528	147	129	147	171	長崎 16%
	26年	5,899	136	132	138	140	(愛知産比率 0%)
い	5ヵ年平均	5,700	130	132	132	128	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	5,700	230	250	240	200	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							<p>茨城、静岡、千葉、長崎からの入荷が中心となる。茨城と静岡は肥大期におけるほ場の乾燥で小玉傾向。千葉は梅雨に入り生育は回復に向かっている。長崎は終盤で春先の低温で玉数が少ない見込み。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は高値基調から前年を大幅に上回る見込み。</p>
たまねぎ	22年	9,253	108	104	103	114	佐賀 36%
	23年	8,728	68	71	66	68	兵庫 35%
	24年	8,312	142	145	139	143	中国 8%
	25年	9,915	89	86	89	91	香川 6%
	26年	9,198	120	115	119	127	(愛知産比率 3%)
ね	5ヵ年平均	9,081	105	103	103	108	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	8,800	130	130	130	130	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							<p>佐賀、兵庫、香川からの入荷が中心となる。各産地とも5月の玉肥大期にほ場が乾燥し玉伸びが鈍く小玉傾向であるが、生育は概ね良好。兵庫は中旬頃からピークを迎える。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>

名古屋市中央卸売市場

アールスメロンの旬別単価は、データが存在しないため表示しない。

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果 実 計	22年	11,675	326	380	371	348	愛知 18%
	23年	11,793	336	342	318	306	フィリピン 15%
	24年	10,410	364	368	326	335	山梨 8%
	25年	11,166	319	351	336	340	山形 8%
	26年	10,541	345	351	336	340	
	5カ年平均	11,117	337	-	-	-	
	27年見通し	10,200	350	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は愛知、フィリピン、山梨中心。国産は春先の天候不順の影響があり、入荷量は減少の見込み。また、全体的に生育も良くなく、価格もさほど上がらない見込み。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並の見込み。							
ア ー メ ロ ン	22年	308	582				愛知 47%
	23年	252	677				静岡 40%
	24年	250	568				高知 11%
	25年	256	584				
	26年	250	537				
	5カ年平均	263	589				
	27年見通し	240	600	600	600	600	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
主要産地は愛知、静岡、高知。春先の日照不足の影響により、着果が思わしくなかったが、大分回復するものと思われる。しかし、量はそこまで回復せず、価格は高くなる見込み。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。							
す い か	22年	3,079	157	167	149	162	愛知 28%
	23年	2,548	196	209	212	182	石川 17%
	24年	3,215	132	148	130	133	長野 16%
	25年	3,483	154	166	150	159	新潟 15%
	26年	3,385	118	131	109	133	
	5カ年平均	3,142	149	162	147	152	
	27年見通し	3,300	140	160	150	130	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は愛知、石川、長野、新潟中心。出荷のピークを迎える。梅雨時期の雨の状況等により数量は増減するものの現状では、例年通りの推移と思われる。価格も去年は安かったが、今年は例年並と思われる。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果 実 計	22年	43,187	338	356	352	314	山梨 17%
	23年	37,118	380	400	400	345	山形 16%
	24年	38,687	339	367	338	316	千葉 11%
	25年	39,489	362	398	351	340	フィリピン 8%
	26年	39,571	354	422	345	349	(愛知産比率 1%)
	5ヵ年平均	39,610	355	-	-	-	前年及び本年の
	27年見通し	40,000	360	-	-	-	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>すいか類、もも、メロン類を中心に入荷する。ももは山梨中心で、好天候により生育は前進傾向。メロンは青肉の千葉産タカミ、山形産アンデスが中心でいずれも生育良好。他にハウスみかん、おうとう等が入荷する。 入荷量、価格ともに前年並となる見込み。</p>					
ア ー ル ス メ ロ ン	22年	746	603	690	603	492	静岡 53%
	23年	606	741	749	770	680	千葉 14%
	24年	685	596	626	641	511	茨城 10%
	25年	714	668	750	683	535	山形 7%
	26年	698	591	621	614	623	(愛知産比率 2%)
	5ヵ年平均	690	640	687	662	568	前年及び本年の
	27年見通し	700	620	640	620	530	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>静岡、千葉、茨城などからの入荷となる。約6割を占める静岡は、外観・内容ともに良好。千葉は6～5玉中心で中旬までの入荷となる。茨城は肥大は良好で生育は前進傾向。 入荷量は前年並となるが、贈答需要が活発で引き合いが強く、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
す い か	22年	15,467	173	176	166	174	山形 23%
	23年	12,092	217	215	250	188	千葉 22%
	24年	13,933	147	154	146	142	神奈川 13%
	25年	14,661	170	180	172	159	新潟 12%
	26年	14,695	140	153	138	134	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	14,170	169	176	174	159	前年及び本年の
	27年見通し	14,700	140	160	140	140	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、新潟に加え中旬から山形からの入荷が本格化する。千葉は好天候により生育は大幅に前進している。山形は好天候により生育は前進傾向で7月後半にピークとなる。 入荷量、価格ともに前年並となる見込み。</p>					

切花・鉢花の7月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 6月26日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実 績	22年	1,882	66	
		23年	2,024	53	
		24年	2,295	30	
		25年	2,203	46	
		26年	2,091	31	
	5ヶ年平均	2,099	45		
27年見通し	2,100	35			
概要	愛知、三重、長野等から入荷。夏秋品種に切り替わり、安定した入荷が見込まれる。新盆を向かえ、多少の引合いもできるが、平年並みで上位等級は業務の動きによるところが大きい。				
小 ぎ	実 績	22年	1,758	40	
		23年	1,843	32	
		24年	2,095	21	
		25年	2,542	23	
		26年	2,408	15	
	5ヶ年平均	2,129	25		
27年見通し	2,500	20			
概要	愛知、埼玉、奈良、岩手、長野から入荷。やや前進傾向で高冷地産も本格的な出荷となる。中京圏では新盆の需要は大きくないため、弱もちあいの動きと思われる。				
カー ネ ー シ ョ ン	実 績	22年	1,183	39	
		23年	1,260	31	
		24年	1,079	39	
		25年	1,210	45	
		26年	1,086	40	
	5ヶ年平均	1,164	39		
27年見通し	1,100	40			
概要	長野、北海道から入荷。今年は全体的に順調で7月の1週目、2週目と一番花のピークを迎えるが、大きな出荷ピークがないのと円安の為、昨年のようなある程度の単価で推移すると思われる。				
か す み	実 績	22年	104	69	
		23年	111	70	
		24年	114	66	
		25年	148	83	
		26年	120	84	
	5ヶ年平均	119	75		
27年見通し	120	80			
概要	長野、福島、北海道から入荷。前半は入荷は少なそうだが、中旬以降増えてくる。全体的に入荷は少ないが、業務需要が少なくなる夏場は販売は厳しい。品種はアルタイル、パールスター中心。				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	22年	425	143	
		23年	468	125	
		24年	440	134	
		25年	519	125	
		26年	404	125	
	5ヶ年平均	451	130		
	27年見通し	450	125		
	概要	OHは新潟、埼玉、北海道、岐阜から入荷。高冷地の各JAの出荷がスタートし、生育は順調で、中旬から数量も増えてくる。鉄砲は兵庫、愛媛、長野からLAは埼玉、新潟から入荷。ユリ類は全体的に豊富な入荷で厳しい販売となりそう。			
洋らん	実績	22年	354	86	
		23年	375	85	
		24年	376	84	
		25年	423	94	
		26年	362	90	
	5ヶ年平均	378	88		
	27年見通し	380	90		
	概要	愛知、静岡、鹿児島、輸入等から入荷。梅雨も明け、気温が高く、先月よりも更に品質による価格差が大きくなってくると考えられる。7月盆の関連で多少の引合いは強くなるが、品質が気になり。			
ばら	実績	22年	858	46	
		23年	810	44	
		24年	863	46	
		25年	856	55	
		26年	783	44	
	5ヶ年平均	834	47		
	27年見通し	800	45		
	概要	愛知、岐阜、和歌山、長野から入荷。伊勢は上旬で一旦終了し、株休めに入る。需要が少ない時期だが、高冷地（長野産）を中心とした動きとなる。			
枝も	実績	22年	1,751	40	
		23年	1,733	43	
		24年	1,898	39	
		25年	1,961	44	
		26年	1,753	41	
	5ヶ年平均	1,819	41		
	27年見通し	1,800	43		
	概要	愛知、静岡、岐阜から栽培物、山取り物が多く入荷する。新盆がらみで一部の商品の引き合いは強くなり、前進傾向もあるため、強含みの展開。			

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ア ン ス リ ウ ム	実 績	22年	32,570	1,011	
		23年	24,971	1,034	
		24年	29,574	1,036	
		25年	30,943	975	
		26年	24,090	958	
	5ヶ年平均		28,412	1,004	
	27年見通し		24,000	970	
概要	<p>入荷量は昨年並か。6号鉢は昨年並だが、7・8号は好調の見込み。単価面については、6号・尺鉢は厳しい見込み。 昨年7月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知県(99.0%)、2位岐阜県(0.5%)、3位三重県(0.2%)となっている</p>				
フ ア レ ノ プ シ ス	実 績	22年	30,131	2,819	
		23年	22,862	3,326	
		24年	27,350	3,315	
		25年	29,433	3,364	
		26年	29,176	3,235	
	5ヶ年平均		27,790	3,203	
	27年見通し		28,000	3,200	
概要	<p>入荷量は減少か。昨年と比べ6月の相場の影響を受け、若干苦戦する可能性がある。ただし上旬より中元シーズンが狙い目となり、下旬よりお盆需要にも切り替わるので対応していきたい。また気温が上昇してくるので、ツボミ多めで出荷を心がけて欲しい。 昨年7月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知県(58.0%)、2位静岡県(9.6%)、3位宮崎県(3.6%)となっている</p>				
バ ラ 及 び ミ ニ バ ラ	実 績	22年	11,929	97	
		23年	11,201	69	
		24年	9,341	144	
		25年	15,028	121	
		26年	12,030	109	
	5ヶ年平均		11,906	108	
	27年見通し		11,500	110	
概要	<p>入荷量は昨年より減少か。例年この時期は生産ロスが多いのと花色の発色不良、良品率の低下も有り。作付量も減少の予想。販売面でも時期的にかなり厳しい見込み。 昨年7月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位岐阜県(55.7%)、2位愛媛県(32.2%)、3位青森県(6.9%)となっている</p>				

単位：鉢、円/鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
オンシジユウム	実績	22年	1,756	1,238	
		23年	2,015	898	
		24年	2,096	976	
		25年	2,408	647	
		26年	1,591	789	
		5ヶ年平均	1,973	896	
	27年見通し	1,450	800		
概要	<p>入荷量は昨年より減少か。作付けは減っているのが要因である。平均単価は横ばいか多少上向きか。昨年同様にツボミ多めでの出荷を希望し、ムレ・軟腐病が出ないように注意が必要となる。</p> <p>昨年7月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知県(48.1%)、2位長崎県(19.1%)、3位広島県(12.8%)となっている</p>				
スパティファイラ	実績	22年	14,642	256	
		23年	13,325	267	
		24年	15,940	297	
		25年	14,607	274	
		26年	9,733	315	
		5ヶ年平均	13,649	280	
	27年見通し	10,000	310		
概要	<p>入荷量は昨年並か。贈答用は年々減少か。5号~6号で3F~5Fの商品の需要が高い。</p> <p>昨年7月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位三重県(66.6%)、2位愛知県(27.8%)、3位岐阜県(4.9%)となっている</p>				
ドラセナ類	実績	22年	34,978	565	
		23年	29,975	696	
		24年	34,479	751	
		25年	30,614	847	
		26年	36,589	833	
		5ヶ年平均	33,327	738	
	27年見通し	36,500	800		
概要	<p>入荷量は昨年並か。7号、8号が中心で、定番の(マッサン、ユッカ、コンシ、サンスベリア)が入荷のメインになると思われる。4号、5号は昨年より多少減少か。</p> <p>昨年7月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知県(80.6%)、2位沖縄県(5.8%)、3位鹿児島県(3.5%)となっている</p>				

主要農林水産物の輸出入実績(2015年)

1 輸入実績

品名	4月						4月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	80,685	88.7	9,083,125	100.5	113	113.4	288,994	83	33,532,204	92	116	112
トマト	596	108.4	218,850	104.0	367	95.9	2,081	103	788,108	97	379	95
たまねぎ	26,133	77.6	1,357,596	76.9	52	99.1	101,400	77	5,247,721	71	52	92
にんにく	1,852	120.0	395,501	156.9	214	130.8	6,634	114	1,381,345	146	208	128
ねぎ	5,247	115.1	545,224	107.4	104	93.3	18,043	95	2,007,415	91	111	97
ブロッコリー	2,532	70.6	716,552	99.3	283	140.7	6,127	55	1,579,471	74	258	134
結球キャベツ	2,998	76.6	134,437	86.2	45	112.6	9,825	44	431,861	46	44	103
にんじん・かぶ	7,700	106.9	357,708	92.0	46	86.1	20,609	76	1,045,793	66	51	86
ごぼう	3,322	78.3	195,503	50.3	59	64.3	12,421	81	727,103	50	59	62
えんどう	104	165.1	41,080	206.9	395	125.3	371	136	153,203	155	413	114
アスパラガス	626	58.8	526,541	77.9	841	132.4	4,336	65	3,315,087	92	765	141
まつたけ	-	-	-	-	-	-	0.1	-	463	-	3,215	-
しいたけ	119	83.2	48,200	90.9	405	109.2	1,035	83	383,188	82	370	98
かぼちゃ	17,526	92.8	1,423,885	105.7	81	113.9	65,515	99	5,565,539	112	85	113
果実(生鮮・乾燥)	173,853	103.5	34,029,523	121.5	196	117.5	534,925	100	97,641,489	115	183	114
バナナ	94,140	104.9	9,729,059	119.4	103	113.8	302,304	101	28,890,907	115	96	113
パイナップル	14,219	82.2	1,171,572	90.8	82	110.4	50,136	102	4,082,217	116	81	114
レモン	3,312	113.4	850,798	150.4	257	132.6	15,761	114	4,109,964	149	261	130
オレンジ	10,553	128.7	1,740,407	132.0	165	102.6	28,446	101	4,722,997	105	166	105
グレープフルーツ	12,468	116.0	1,902,976	137.6	153	118.7	39,326	93	5,881,873	108	150	116
メロン	2,493	59.9	270,039	63.2	108	105.5	9,633	80	1,102,364	86	114	107
ぶどう	8,093	217.7	2,403,412	284.2	297	130.5	21,173	262	6,529,737	345	308	131
キウイ	11,607	93.4	4,038,496	89.9	348	96.3	11,775	94	4,102,442	91	348	97
いちご	8	250.0	7,983	240.1	1,064	96.0	14	126	16,472	123	1,155	97
切花(生鮮・乾燥)	2,906	96.2	3,008,990	111.1	1,035	115.5	13,668	96	12,903,089	106	944	110
鳥獣肉類	190,027	111.5	104,543,528	124.9	550	112.0	610,683	145	338,836,415	165	555	114
牛肉(くず肉含む)	57,934	126.8	40,112,713	164.1	692	129.4	161,746	155	117,545,329	211	727	136
豚肉(くず肉含む)	73,155	100.5	39,324,309	101.2	538	100.7	246,558	126	135,522,967	131	550	104
鶏肉	46,182	113.0	13,770,762	121.0	298	107.1	165,002	168	51,749,413	190	314	113
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	167,005	101.8	107,683,091	101.0	645	99.2	541,230	151	367,964,559	150	680	100
まぐろ類	22,477	131.6	18,451,367	126.0	821	95.7	71,481	137	75,834,280	145	1,061	106
さば・さんま・あじ・いわし	4,491	78.4	1,019,010	77.0	227	98.2	36,880	142	8,171,924	142	222	99

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	605	137.8	291,053	146.5	481	106.3	13,911	180	5,972,990	186	429	103
うんしゅうみかん	11	157.1	5,830	110.7	530	70.5	258	107	135,946	100	527	94
りんご	556	136.3	220,760	144.6	397	106.1	13,057	180	4,940,963	182	378	101
なし	-	-	-	-	-	-	60	728	30,966	709	516	98
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	282,862	102.9	-	-	-	-	1,282,587	187	-	-
緑茶	257	86.2	702,111	103.9	2,732	120.4	1,193	161	2,833,944	168	2,375	105

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

速報値によるデータのため、累計値に誤差がある場合があります。

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 <small>（全国 平成22年 = 100）</small> <small>愛知県 平成22年 = 100</small>				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	24年平均	99.7	96.1	103.3	99.0	101.4
	25年平均	100.0	96.4	101.6	99.3	102.4
	27年 1月	103.1	107.9	119.6	110.4	117.2
	2月	102.9	102.3	121.2	110.8	116.4
	3月	103.3	102.3	121.4	111.2	115.4
	4月	103.7	112.3	118.9	111.8	115.5
愛 知 県	24年平均	99.5	95.9	102.9	98.6	101.4
	25年平均	100.3	100.3	105.6	99.9	105.6
	27年 1月	102.8	111.1	124.1	112.7	116.5
	2月	102.7	104.6	128.0	113.1	116.0
	3月	103.3	105.4	123.5	112.6	115.4
	4月	103.9	116.3	123.4	113.4	115.1

項目 年月		農業物価指数（平成22年 = 100）				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
全 国	24年平均	101.8	111.1	99.0	102.8	100.9
	25年平均	102.8	112.8	98.7	94.7	107.7
	27年 1月	108.6	83.6	119.8	119.7	119.9
	2月	109.3	83.5	118.0	121.1	122.7
	3月	110.6	83.5	120.4	114.5	124.4
	4月	112.7	83.0	121.6	124.9	124.1

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単一品種、「コシ加」以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
24年平均	2,112	147	178	629	457	297	160	350	229	558	665	165	564
25年平均	2,084	149	182	649	442	299	163	388	231	569	695	162	567
27年 1月	1,850	192	146	666	750	317	166	360	247	719	639	191	484
2月	1,836	172	141	582	531	333	150	296	245	666	671	194	488
3月	1,847	156	188	588	547	334	155	317	253	614	741	184	482
4月	1,847	206	273	639	628	398	205	364	250	754	700	162	528
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	豚肉(バラ)	牛肉(ロース)	まぐろ
	1 kg			100g	1 kg		100g	1 本			100g		
24年平均	582	283	352	177	211	805	534	153	168	306	225	797	398
25年平均	581	285	355	179	214	792	530	159	171	310	231	794	390
27年 1月	633	452	462	196	242	870	537	167	176	357	224	925	488
2月	691	479	497	191	253	881	535	170	177	360	226	925	495
3月	682	391	497	174	256	886	537	185	183	358	215	916	449
4月	-	398	464	165	261	930	516	174	177	359	219	912	447

豚肉は26年12月までロースの価格を示す。

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



いいともあいち運動って知ってる？

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products (**イート モア アイチ** プロダクツ)

= もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 505
平成27年7月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6421